

南大山地区基幹農道が全線開通しました

南大山地区基幹農道の開通式を平成25年4月12日（金）に行いました。

南大山地区基幹農道は、大山山麓からの渓谷に隔てられた地域と農業施設とを結び、農産物市場などへの出荷の効率化や輸送時間の短縮を目的に、伯耆町大坂（一般県道大滝白水線）から江府町宮市（国道482号）までを結ぶ農道（全長8.4km）として、平成4年から整備を進めてきました。

このたび、未開通であった江府町柿原～袋原間(3.4km)が開通したことにより全線開通しました。

この開通により農産物の輸送の利便性が向上するとともに、農村地域の集落間を行き来する生活道として、さらには主要道路の代替道路として防災上の役割も期待されています。

